

議 事 要 旨

日時：平成 22 年 3 月 25 日（木） 14:00～15:20

場所：角筈地域センター 7 階 会議室 A・B

1. 開会

2. 報告・議題

- ・新宿駅周辺循環型バスの現状について
- ・今後の会議体の運営について

3. 委員からの主な意見・質問

○新宿駅周辺循環型バスの現状について

- ・お客様から、バスの運行ルート逆ルートにしてほしいという意見がある。
→現段階では逆ルートを具体的に検討していないが、利用者数が少ない状況の中で、バス停の増設や位置変更、逆回り等も検討していくことも課題の一つである。
- ・新宿駅西口地域から南口方面へ向かうバスがないので、南口に向かえば乗るのではないか。
→南口の甲州街道には路線バスのバス停はなく、どこからもアクセスしていない。逆ルートは当初から検討していたが、反時計回りは定時性の確保が難しい可能性があるということで、今の時計回りにした経緯がある。今後は、定時性も含め、検討していきたい。
→渋滞を見込んで組んだダイヤでは時間調整が長くなるため、今回ダイヤ改正を行うこととした。
- ・運行事業者の乗務員の労働条件は守れるのか。
→労働条件については、運行事業者の方で守られていると考えている。補填は行わないが、区としても、運行事業者と協力し、利用者数の確保について努力していきたい。
- ・時刻表を改正して意味があるのか。
→利用促進対策の第一段階として、時刻表を改正する。利用者増に直結するかは分からない。
PR やルート・バス停の再検討等並行して進めていく。
- ・運行回数を増やすことで、経費がよけいにかかる。増やす理由がよくわからない。
→燃料費はかかるが、人件費は増えない。労働条件についても悪くはならない。お客様からバス停で 5、6 分待つのは耐え難いという声があり、今回改正した。
- ・バスのデザインが街の中、特に東口方面では目立たないという意見があるので、検討が必要。
- ・現在の PR 活動としては、周辺の百貨店・ホテル・都庁等にマップを紹介してもらっている他、区が関わるイベントで PR 中。情報誌への掲載も依頼している。
- ・一般の方から PR のアイデアを募集するのもいいのではないかと。周知にもつながる。
- ・都庁の第一本庁舎にある看板は、知らない人には分からない。どんなバスかわかるようなものなど、ポスターの表現を増やす必要があるのではないかと。
→都庁の看板については、表示内容を検討し、東京都と調整する。
- ・新宿区のイベントで体験乗車イベントをやってはどうか。
→区民に対しては、「はたちのつどい」等でバスの乗車券を配布し、乗ってもらおうという試みをしており、今後も体験乗車等を検討していく。

- ・区民だけでなく、区外の方向へのPRがもっと必要ではないか。
- ・PRしていくターゲットをどこにするか、明確にすべきではないか。
- ・外国人向けにもっとPRが必要。
→区民だけでなく、ターゲットを絞ってのPRも考えていく。
- ・車体に運行ルートを表示してはどうか。
- ・新宿御苑を回るルートにすればいいのではないか。
- ・バス停の位置が分からない（特に新宿三丁目）。駅に案内を表示した方がいいのでは。
→バス停への案内については、西口地下から乗り場への矢印をつけるなど対策は進めており、ポスターの掲示や案内サインの設置等を協議しているところである。
- ・車内のショーケースは利用されているのか。
→ショーケースは現在は活用されていない。デジタルサイネージも合わせて、地域情報などを充実させていきたい。
→車内での音声での案内なども運行事業者と協議しながら検討していきたい。
- ・パーク&バスライドが分かりにくいので、「西口に車を置いて東口に行こう」というような、わかりやすい表現方法を考えたほうがよい。
- ・駐車場でパーク&バスライドについてアナウンスするのもいいのではないか。
- ・西口のバス停から東口方面に行くルートだが、東口の方向に行く人が西口に出てくるかどうか。

○副会長からのコメント

- ・月を追うごとに利用者数が減少している要因は何か。
- ・減っている要因の一つは、途中の待機時間ではないか。歩いたほうが速いという感覚になっている可能性がある。運転手に行き先を聞いて、待ち時間があると分かると乗らないケースが多い。
- ・運行ルート、バス停、パーク&バスライド、運賃体系等分からない部分が多すぎる。特に運賃については、前払い制なので割引制度の周知が必要。
- ・わかりやすい周知のために、プロジェクトを組んでやってみてはどうか。
- ・天窓が外から見ただけでは分かりにくいので、もっと天窓をアピールする必要がある。

○今後の会議体の運営について

- ・現在は、「新宿駅周辺循環型バス導入対策協議会」と「新宿区地域公共交通会議」の同時開催。
- ・導入対策協議会については、9月27日から新宿WEバスが導入され、一定の役割は果たしたと考えており、本日で終了としたい。
- ・利用促進やルートの修正等、今後の課題を検討する場合には、分科会（専門部会）的に、それぞれの関係諸機関、関係者で議論する場を設け、母体となる地域公共交通会議で集約していく方針としたい。
→異議なし（新宿区地域公共交通会議については来年度も存続する。）

以上